

「『久高島方言辞典』 福治友邦・加治工真市
共著」出版のために

加治工, 真市 / 福治, 友邦

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言 / 琉球の方言

(巻 / Volume)

32

(開始ページ / Start Page)

41

(終了ページ / End Page)

58

(発行年 / Year)

2008-03-31

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012532>

『久高島方言辞典』 福治友邦・加治工真市共著」出版のために

加治工真市
福治 友邦

分野9 遊戯

アーミ「シー」[ʔa:miʔji:] (名)

ぶらんこ (秋千、鞦韆)。アーミ「シー」フギン [ʔa:miʔji: Φugiʔŋ] (ブランコをこぐ)

「アカングワ」[ʔakangwa] (名)

あかんぼう (赤ん坊)。生まれて間もない子。「アヌ ヤー」カイ 「キヌー アカン」グワヌ ウマッタン「 ッチー「シガ」 ユナ「グングワ」 ヤ「タッチ」ル 「フルーン」ユキ「ガングワ ナチャ」イ メー「ニンナシ ヤルヤー」[ʔanu ja:ʔ kai ʔkinu: ʔakanʔgwanu ʔumattan ʔtʃi:ʔʃiga ʔjunaʔgungwa ʔjaʔtatʃiʔru ʔΦuru:n juki ʔgangwa naʃaʔi me:ninnaʃi ʔjaruja:] (あの家には昨日、赤子が生まれたというが、女の子だったそう。去年も男の子をうんで年子<毎年産>を産んであるねえ)

ア「チー」[ʔaʔʃi:] (名)

ちち (父)。「按司」←「吾父」の転訛したものか。「アッティミー」[ʔattimi:] (父)ともいう。チャー「チャー」[ʃa:ʃa:] (父)という人もいる。ワツ「ター チャーチャー ナーヤ」マサ「ヲー」ヤイビール [watʔta: ʃa:ʃa: na:ʔja ʔmasaʔwo:ʔ ʔjaibi:ru] (私の父の名は正夫であります)。福治友邦氏はチャー「チャー」[ʃa:ʃa:] (父)という。

「アッティミー」[ʔattimi:] (名)

父。「吾父前」の転訛したものか。「知々波々我頭かき撫で〜『万葉集 4346』」の義「アッティミーグワ」[ʔattimi:gwa:] (名)

二番目の伯父。父より年上で、大伯父より年下の伯父

「アム」[ʔam] (名)

母。お母さん。「〜阿毛志志可 玉の姿は〜『万葉集 4378』」の義。「阿毛」(吾母)の転訛した形か。「アンマー」[ʔamma:] (お母さん)という人もいる。ワツ「ター アンマーヤ」マツ「クー ヤイビール」[watʔta: ʔamma:ʔja ʔmakʔku: ʔjaibi:ru] (私の母はマッカーです)。アン「マー」ムン「キヤー」ンデ [ʔamʔma:ʔ mun]

「kija:nde」(お母さんご飯を頂戴<くれ>よ)。アン「マー」 ムン 「キーンショー
リバ」[ʔam「ma:」 mun 「ki:ŋʃo:riba」(お母さん、ご飯をください。<敬語>)。
久高島の母親の名前には、ハ「ミー」[ha「mi:」、ハ「マー」[ha「ma:」、ウ「カー」[ʔu「ka:」、
シ「ブー」[ʃi「bu:」、スア「ルー」[ra「ru:」、ハ「ナー」[ha「na:」、ンダ「ルー」[ʔnda「ru:」
などがあった

「アラケーユーケー」[ʔarake:ju:ke:] (名)

ままごと(飯事)。久高島では、女の子はシャコ(車庫)貝を用いてままごと遊びをした。
「アラケー」[ʔarake:] (シャコ貝)でご飯を作る遊び。「アヌ ワラビンシャーガ」
アラケーユー「ケー ヅチ」 アスイ「ルーン」[ʔanu warabiŋʃa:ga ʔarake:ju:「ke:
tʃi ʔaθi「ru:ŋ」(あの女の子たちがままごと遊びをしている)

アン「マー」[ʔam「ma:」 (名)

長姉。あね(長姉)の名称、呼称。「アンマーグワー」[ʔamma:gwa:] (末の姉)。
ハミン「マー」(アン「マー」) マ「ジョーイ」 パハン「チ イキャビラ」[hamim「ma:」
(ʔam「ma:」) ma「ʄo:i」 ʔʰan「ʃi ʔikjabira」(カミ姉さん<姉さん>、一緒に畑
へ行きましょう)。ハマン「マー」[hamam「ma:」(カマ姉さん)

「イー」[ʔi:] (名)

え(絵)。「イー」ハキン「[ʔi: ʔhakiŋ」(絵を描く)。「イーヌ」 シュラ「スアン」
[ʔi:nu ʃura「raŋ」(絵が美しい)

イキ「スイトゥミー」[ʔiki「θitumi:] (名)

一生涯。人の一生。生きている間。「アラー」 イキ「スイトゥミー」 チョーレー
「ウミー」 ヤタル「[ʔara: ʔiki「θitumi: ʃore:ʔumi: jataru」(あれは生涯<生
きている間>兄弟思いであった)。「アラー」 イキ「スイトゥミー」 シマヌ 「フト
ー」 ユー 「チャン」[ʔara: ʔiki「θitumi: ʃimanu ʔʰuto: ju: ʔʃaŋ」(あ
れは一生涯<生きている間>、島のことをよくやった)

イキミ「ジュー」[ʔikimi「ʄu:] (名)

一生涯。生きている間。「生き身中」の義か。「アヌ チョー」 イキミ「ジュー」 シ
マヌ 「ウットウンシャー」 ビヒキ「タティタンミヤー」[ʔanu ʃo: ʔikimi「ʄu:
ʃimanu ʔuttuŋʃa: ʔʰiki「tatitammja:」(あの人は一生涯、島の後輩を引き立て
た)。

「イチク」[ʔiʃiku] (名)

いとこ(従兄弟)。「ウラー」 ワー 「イチク ヤイビール」[ʔura: wa: ʔiʃiku
jaibi:ru」(これ<この人>は私の従兄弟です)

イッ「チュー」[ʔit「ʃu:] (名)

(人名) いしと(石戸)。「アラー」 イッ「チュー」 チール「[ʔara: ʔit「ʃu: ʃi:ru」

(あれ<彼>はイッチュー<石戸>という。彼の名前は石戸である)

イトウ「ハキ」[?itu^hhaki] (名)

糸掛け。三線の三本の弦を胴の底部の猿尾に繋ぎとめる装置。

ウイギ「シェー」[?uigi^hʃe:] (名)

海水浴。海泳ぎ。「泳ぎすること」の義。ウイ「ギ」ヌ 「ジョーリ」[?ui^hgi^h nu^h ʃo:ri] (泳ぎが上手だ)

ウイ「ギン」[?ui^hgin] (動)

泳ぐ。「ウイギ」[?uigi] (泳ぎ)。「ウイ「ガン」[?ui^hgan] (泳がない)。「ワナー ウイ「ギン」[^hwana: ?ui^hgin] (私は泳ぐ)。「ウイ「ギビースァー」[?ui^hgibi:ra:] (泳ぎます)。「ウイジ 「ミープシャン」[^h?uiʃi^h mi:buʃan] (泳いでみたい)。「ウイ「ガンキバ」[?ui^hgan^hkiba] (泳ぐな)。「ウイ「ギョースァン」[?ui^hgijo:ran] (泳ぐことが出来ない)。「ヤーガ^h ウイ「ギンシャコー」 ワヌン ウイ「ギスァー」[ja:ga^h ?ui^hginʃako:^h wanun^h ?ui^hgi:ra:] (君が泳ぐなら私も泳ぐよ)。「ハー ウイ「ギバ」[^hha: ?ui^hgiba] (早く泳ぎなさいよ)。「ナマ^h ウイ「ジューン」[^hnama^h ?ui^hʃu:n] (今泳いでいる)。「ナマ^h ウイ「ジャ グラン」[^hnama^h ?ui^hʃja^h guran] (今泳いでいない)。「ウイ「ジュータン」[?ui^hʃu:tan] (泳いでいた)。「ウイ「ギ」ヌ 「ジョーリ」[?ui^hgi^h nu^h ʃo:ri] (泳ぎが上手だ)

「ウクリ」[^h?ukuri] (名)

遅刻。「遅れ」の義。一定の時刻に遅れること。学校の授業に遅れること。

「ウクリー」ン [^h?ukuri:^hŋ] (動)

遅れる。「ニーブヤーヤ^h ガッ「コーヤ ウクリー」ンドー 「ハー ウキ「ランバ」[^hni:buja:ja^h gak^hko:ja^h ?ukuri:^hndo: ^hha: ?uki^hramba] (朝寝坊は学校に遅れるよ。早く起きなさい)

ウチ「ナチャン」[?uʃi^hnaʃan] (動)

終わらせた。終了させた。済ませる。「シグトー」 ウチ「ナチャン」[ʃiguto:^h ?uʃi^hnaʃan] (仕事は終了させた)。「ナマ^h ウチ「ナスァン」[^hnama^h ?uʃi^hnaʃan] (まだ終わらない)。「ウチナスァンキバ」[?uʃinaʃan^hkiba] (終わるなよ)。「シグトウ」 ウチ「ナチャンシャコー」 アスイ「ビーガ」 フー「バ」[ʃigutu^h ?uʃi^hnaʃanʃako:^h ?aθi^hbi:ga^h ʃu:^hba] (仕事が終わったなら遊びに来いよ)。「ハー ウチ「ナスイバ」[^hha: ?uʃi^hnaθiba] (早く終わりなさいよ)

「ウッチヌクブシー」[^h?utʃinukubuʃi:] (名)

だるま(達磨)さん。達磨大師の座禅した姿に模して作られた人形の玩具。倒してもすぐ立ち直るように作られている。

ウツチュ^バハー「^バハー」[ʔutʃu^pʔa:ʔ^pʔa:] (名)

曾祖母。ウツチュ^バハー「^バハー」ガン「^{ジュー} ヤイビーヤ」[ʔutʃu^pʔa:ʔ^pʔa:ʔ^pgan^ʔʔu: jaibi:ja] (曾祖母はお元気ですか)

ウツ「チュウ^フシュー」[ʔutʃu^pʔu^pʔu^pʔu:] (名)

曾祖父。「ウ^フシュー」[ʔu^pʔu^pʔu:] (祖父)は「祖 五虎之」『中山伝信録』、「祖 烏弗首」『琉球入学見聞録』の義。それにウツ「チュ」[ʔutʃu] (うへひとく上人)が上接して転訛したものか。ウツ「チュウ^フシュー」ガン「^{ジュー} ヤイビーヤー」[ʔutʃu^pʔu^pʔu^pʔu:ʔ^pgan^ʔʔu: jaibi:ja:] (曾祖父はお元気ですか)

「ウツ」トウ「^ʔutʃu」[ʔuʔ^ʔtu] (名)

おとうと (弟)。妹。「ウラー」ワー「ウツ」トウ「ヤイビール」[ʔura:ʔ^ʔwa:ʔ^ʔutʃu jaibi:ru] (これは私の弟です)

「ウ^バハム」[ʔu^pʔam:] (名)

一番上の伯母。「大きいお母さん」の義。「アム」[ʔam] (母、「阿母志志」『万葉集 4376』の転訛したものか)に「ウ^フ」[ʔu^pʔu] (大)が上接して形成された語。二、三番の伯母に対しても「ウ^バハム」[ʔu^pʔam:] という。

「ウビーン」[ʔubi:ŋ] (動)

おぼえる (覚える)。ウビー「ラン」[ʔubi:ʔ^ʔraŋ] (覚えない)。ウビー「タン」[ʔubi:ʔ^ʔtaŋ] (覚えた)。「ウビープシャン」[ʔubi:buʃaŋ] (覚えたい)。「ウビースィ」ヌマン「ドゥー」ン「^ʔubi:θi^ʔnu man^ʔdu:ŋ」 (覚えるのが多い)。「ハー」ウビヤー「ハキ」バ「^ʔha: ʔubi:ja haki^ʔba」 (早く覚えたら書きなさい)。「ハー」ウビー「トゥーンシャコー」ハキ「バ」^ʔha: ʔubi:ʔ^ʔtu:ŋʃako^ʔ haki^ʔba (早く覚えているなら書きなさいよ)。「ハー」ウビー「リバ」^ʔha: ʔubi:ʔ^ʔriba (早く覚えなさい)。ウビー「ランキバ」[ʔubi:ʔ^ʔraŋkiba] (覚えるなく覚えなくておけ)。ウビー「ランティン」スィ「ミ」ン「^ʔubi:ʔ^ʔrantiŋ θi^ʔmi^ʔŋ」 (覚えなくてもよい)。ウビー「トゥータン」[ʔubi:ʔ^ʔtu:taŋ] (覚えていた)

ウ^フ「アッティミー」[ʔu^pʔu^pʔattimi:] (名)

伯父。「大きいお父さん」の義。ウ^フ「チャーチャー」[ʔu^pʔu^pʔʃa:ʃa:] (伯父。「大きいお父さん」の義)ともいう。ウ^フ「アッティミー」シューヤ ウミ「チャー イキャビラネー」[ʔu^pʔu^pʔattimi:ʔ^ʔʃu:ja ʔumi^ʔʃa: ʔikjabirane:] (伯父さん、今日は海へは行きませんか。＜出漁しませんか＞の義)

ウ^フツ「チュ」[ʔu^pʔutʃu] (名)

おとな (大人)。ウ^フツ「チュ」ナタン「^ʔu^pʔutʃu nataŋ」 (大人になった)

「ウ^フヤカー」[ʔu^pʔujaka:] (名)

長兄。「大兄」の義。「ヤカー」[ʔjaka:] (兄)に尊称の接頭辞「ウ^フ」[ʔu^pʔu] (大)

が上接して形成された語。ヤクメ系は琉球王朝期の位階名「大屋子思い」（地方長官、「思い」は尊称辞）が目上に対する尊称として用いられ、一般化したものである『図説琉球語辞典』という。「アマヌ ウヅフヤカーヤ」 ウツ「トゥヌシャー」 ユー ティ「ティキティ」 チョーレー「ウミー」ヌ 「チュースアン チュー」 ヤル [「?amanu ?u^pΦujaka:ja」 ?ut「tunuʃa:」 ju: ti「tikiti」 ʃo:re:「?umi:」 nu 「ʃu:ran ʃu:」 jaru]（あの家の長兄は、弟達をよく躰けて、兄弟思いの強い人である）

ウヅフジ「バー [?u^pΦuʃi「ba:」] (名)

祖父（名称）。「ウンチョー」 ワー ウヅフジ「バー ヤイビール [「?unʃo:」 wa: ?u^pΦuʃi「ba: jaibi:ru」]（この人は私の祖父です）

ウヅフ「シュウ [?u^pΦu「ʃu:」] (名)

祖父（呼称）。タン「メー [tam「me:」]（祖父）といわれた人もいたが、おそらく首里方言からの借用語と思われる。普通は、ウヅフ「シュウ [?u^pΦu「ʃu:」]（「大主」の義で、祖父の意）という。ウヅフ「シュウ」 スータ 「ゲーシンショーリバ [?u^pΦu「ʃu:」 rata 「ge:ʃinʃo:riba」]（お祖父さん、砂糖をください<貰わせてください>）

ウヅフ「ヤー [?u^pΦu「ja:」] (名)

本家。「大家」の転訛したもの。ワツ「ター ウヅフシュウヤ」 スア「チングワ ナ ヤーマ」 ワツ「ター ヤーヤ」 ハヤ「ヤー」 ヤタシガ ウヅフ「ヤーヌ」 ウヅフ「シュウヤ ゲーマカイ」 ハトゥー「シン」 ムツ「チュータクトウ」 マギ ハー「ラヤー」 ヤタル 「テーブーン バーイヤ」 ウヅフ「ヤーチ」 ハツ「キーガ」 イキタ「スア」 [wat「ta: ?u^pΦuʃu:ja」 ra「ʃingwa naja:ma」 wat「ta: ja:ja」 haja「ja:」 jataʃiga ?u^pΦu「ja:nu」 ?u^pΦu「ʃu:ja ge:makai」 hatu:「ʃim」 mut「ʃu: takutu」 magi ha:「raja:」 jataru 「te:pu:m ba:ija」 ?u^pΦu「ja:ʃi」 hak「ki:ga」 ?ikita「ra:」]（私のおじいさんは分家で、私の家は茅葺家だったが、本家のおじいさんは八重山でカツオ漁船を経営して<持って>いたので、大きな瓦家であった。台風の際は本家へ避難<隠れ>に行ったものだよ）

ウム「ハタ [?umu「hata」] (名)

母方。母系。ウム「ハタヌ エーカー [?umu「hatanu ?e:ka:」]（母方の親類。親戚）「ウワイン [「?uwain」]（動）

おわる（終わる）。「ウワラン [?uwaran]（終わらない）

「ウヤ [「?uja」] (名)

おや（親）。父母の称。「～香ぐはしき於夜能御言朝暮に～『万葉集 4169』」の義。「ウヌ ヅッチョー」 ワー 「ウヤ ヤイビール [「?unu tʃo:」 wa: 「?uja jaibi:ru」]（この人は私の親です）

「エーカ」[「ʔe:ka」] (名)

親類。親戚。「親子」の転訛したものか。久高島では、又従兄弟までを「エーカ」[「ʔe:ka」] (親戚) と認めているという。「アritoー」 エー「カ ヤル」[「ʔarito:ʔ ʔe:ka jaru」] (あれとは親類である)。「シジヌ」 エーカ [「ʔiʃinu ʔe:ka」] (父方の親類)。
ウム「ハタヌ」 エーカ [ʔumuʔhatanu ʔe:ka] (母方の親類)

エー「ジュー」[ʔe:ʔu:] (名)

なかま (仲間)。「グー」[gu:] (仲間。一対のもの) ともいう。エー「ジュー」チ 「イリリバ」[ʔe:ʔu:ʔi ʔiririba] (仲間に入れろよ)。エー「ジューチャー」 イ「リラン」[ʔe:ʔu:ʃa:ʔ ʔiʔriraraŋ] (仲間には入れられない)。「ドゥシ」[du:ʃi] (友人) ともいう

「エンピツ」[「ʔempitsu」] (名)

えんぴつ (鉛筆)。標準語からの借用語。「イルエンピツ」[ʔiruempitsu] (色鉛筆)。昔は色鉛筆はなかった。

オー「エー」[ʔo:ʔe:] (名)

けんか (喧嘩)。殴り合いの喧嘩。オー「エー」 シュン [ʔo:ʔe: ʃuŋ] (喧嘩をする)。
ク「チオーエー」[ku:ʔiʔo:ʔe:] (口喧嘩)。「チョーデーオーエー」[ʔo:de:ʔo:ʔe:] (兄弟喧嘩)。「スアキグイーッチ」 オー「エー」 シュン[ʔakigui:ʔʃi ʔo:ʔe: ʃuŋ] (酒に酔って<酒酔いをして>喧嘩する)

「オーバハ」[「ʔo:ʔa」] (名)

おんぶ (負んぶ)。「オーバハ」 「シュン」[ʔo:ʔa ʃuŋ] (負んぶする)。「ワラビ」
「オーバハ」 シュン [ʔwarabi ʔo:ʔa ʃuŋ] (子供を負んぶする)

オテ「ダマ」[ʔoteʔdama] (名)

おてだま (御手玉)。標準語から新しく借用されたことば。学校教育の現場から、女子生徒の遊びを中心に広がった言葉という。

「ガー」[ga:] (名)

根気。気力。「我」の義。一定の考えに凝り固まって行動すること。「ガーン」 ナー
ン [ga:n na:n] (我がない。根気がない。忍耐力がない)

ガツ「コー」[gakʔko:] (名)

学校。標準語からの借用語。ガツ「コーチ」 ン「ギーン」[gakʔko:ʃi ŋgi:n] (学校に出る。学校へ上がる)。ガツ「コー」 ソツギョー シュン [gakʔko: sotugjo: ʃuŋ] (学校を卒業する)。ガツ「コーラ」 ヘー「イン」[gakʔko:ra he:iŋ] (学校から帰る)。ガツ「コーン」ジ 「ベンキョー」 シュン[gakʔko:nʃi ʔenʃjo: ʃuŋ] (学校で勉強する)。ガツ「コー」チ 「アガイン」[gakʔko:ʃi ʔagain] (学校へ上がる)

ガッコー「ドーク」[gakko:do:gu] (名)

学校道具。教科書や帳面類。学用品。

「カバン」[kaban] (名)

かばん (鞆)。標準語からの借用語。

ガン「マリ」[gam mari] (名)

いたずら (悪戯)。悪ふざけ。ガン「マリ」 シュン [gam mari ſuŋ] (悪戯をする)。

「アヌ クー」 ガンマリ「シャー」[ʔanu kwa: gammariʃa:] (あの子は悪戯っ子である)

「キーク」[ki:ku] (名)

けいこ (稽古)。「キーク」 シュ「ン」[ki:ku ſuŋ] (稽古をする)。

ギー「ナカ」[gi:naka] (名)

なかよし (仲良し)。「良い仲」の義。アン「ター」ヤ 「ナカヌ ユタ」スァン [ʔan ta:ja ʔanakanu jutaŋ] (あの人は仲がいい。～仲良しである)。アン「ター」ヤ ギー「ナカ」ヤスイガ [ʔan ta:ja gi:naka jaθiga] (あの人は良い仲<仲良し>だよ)

「ギームン」[gi:mun] (名)

おもちゃ (玩具)。屠殺した豚のフ「グイ」[Φu gui] (膀胱。ふぐり。陰囊の義)に空気を吹き込んで膨らませ、ブー「カー」[bu:ka:] (風船)にしたり、手でついたりして遊ぶのに用いた。遊具の一つ。

「キネー」[kine:] (名)

家庭。所帯。「チュ」キネー [ʔʃu kine:] (一家庭。一戸。一所帯)。「タ」キネー [ʔta kine:] (二戸。二所帯。二家族)。「キネームチ ジョー」リ [kine: muʃi ɬo:ri] (家庭経営が上手である。家庭もち上手)。「アマヌ キネーヤ」スァ「カイウガフー チューン」[ʔamanu kine:ja ɾa kaiʔugaΦu: ʃu:ŋ] (あそこの家庭は繁昌している)。「アマヌ キネーヤ」デー「ジナ」ギー「キネー ヤイビーン」[ʔamanu kine:ja de:ʃina gi: kine: jaibi:ŋ] (あそこの家庭は大変良い<大変素晴らしい>家庭です)

キヤー「ティー」[kja:ti:] (名)

げっぶ。おくび。「チュン」メーカイ「キヤー「ティー」ヤ」スァンキバ [ʃum me:kai kja:ti:ja ʔaŋkiba] (人の前でげっぶを出すなくするな>)

「キョーシツ」[kjo:ʃitsu] (名)

教室。標準語からの借用語。

ギン「ムン」[gim mun] (名)

同じもの。ギン「ムン」ンギャ「チ」[gim mun ŋjaʃi] (同じものを出して)。じゃ

んけん（石拳）で同じ鉄や石などを出すこと

「グイーン」[「guji:ŋ」]（動）

よう（酔う）。「グイラン」[「gujiraŋ」]（酔わない）。グイ「タン」[guji「taŋ」]（酔った）。

グイ「トゥーン」[guji「tu:ŋ」]（酔っている）

「クイ」ゲー [「kui「ge:」]（名）

最下級の船員。15～16歳の少年で、唐船の船員になったといわれている。鯉漁業に従事する場合、小学校6年卒業した後、「クイ」ゲー [「kui「ge:」] として漁船に乗り組み、鯉漁船の炊事や雑事を担当した。配当金は、正船員の3～4割程度だったという。「アラー」 ガッ「コー ンギースウトウ」 ミーク 「ゲーマヌ」 マル「ニー」ヌ 「プンヌ」 クイ「ゲー シーガ」 ンジャン [「ʔara:」 gak「ko:」 ʔŋgi:θutu「mi:ku」 ge:manu「maru「ni:」 nu」 p'unnu「kui「ge:」 ʃi:ga」 ʔnɕaŋ」]（彼＜あれ＞は学校卒業と同時に八重山の丸二の鯉漁船のクイゲーをしに行った）

「グーリ」ル [「gu:ri「ru」]（名）

三線＜三味線＞の雄弦。最も太い弦で、低音を演奏するのに用いる弦。

クサブッキ「トゥーン」[kʊsabukki「tu:ŋ」]（動）

大人びている。老成している。ませている。「アラー」 ワラ「ビヌ」 クサブッキ「トゥーン」 [「ʔara:」 wara「binu」 kʊsabukki「tu:ŋ」]（彼＜あれ＞は子供のくせに大人びている＜～老成している＞）

クジ「ワイ」[kuɕi「wai」]（名）

くじ割。籤をひく。米粒を用いて神意を判断すること。判じをすること。クジ「ワイン」[kuɕi「wain」]（判じをする。くじ割をして神意を判断する）

クジ「ワイン」[kuɕi「wain」]（動）

クジ割りをする。米粒で神意を占い判じをする。子供の「ナージキ」[「na:ɕiki」]（命名）の際、「ニーガン」[「ni:gaŋ」]（根神）が米粒を「ファーシブン」[「ʔa:ʃibuŋ」]（丸い高膳）の上に並べて判じを行った。パハナ「グミ」[pʰana「gumi」]（花米）を「ミティブナー」[「mitibuna:」]（三粒ずつ）組を作って並べ、最後まで組が揃うと当たり。最後の組が「ミティブ（三粒）揃わないと、フバハ「スアン」[ʔuʰpa「raŋ」]（当らない。「堅い」の義）といってやり直す。当らない時は別の母方の祖父、または祖母の名を当ててクジを割った。外間殿の「ウフグイで米粒を出して占った。クジ「ワティ アティーン」[kuɕi「wati ʔati:ŋ」]（クジを割って占う＜判じを行う。神意を当てる＞）

「グトウ」[「gutu」]（名）

おっと（夫）。「グトウ」ヌ 「グン」[「gutu」 nu 「guŋ」]（夫がいる）。「グトウ ムツチューン」[「gutu mutʃu:ŋ」]（結婚している＜夫を持っている＞）

「グナイスイトゥ」[^gunaiθitu] (名)

こじゅうと (小舅。小姑)。「ユナイスイトゥ」[^junaiθitu] (小姑。小舅) ともいう
グマ「ディケー」[guma^ddike:] (名)

小遣い。グマ「ディケーディン」[guma^ddike:diŋ] (小遣いのお金)

「クワ」[^kwa] (名)

子。子供。「子等」の転訛したもの。「クワン」^ンマリタン[^kwanu^ン mmaritaŋ] (子供が生まれた)。「ワナー」^ックワー^{タイ}「ヤイ」^{ビール} [^wana: k^k'wa: t'ai^ン jai^ンbi:ru] (私は子供は二人です。私は子供が二人います)

「グキークク」[^gwi:kk'wa] (名)

おい (甥)。兄弟姉妹の息子。「甥っ子」の転訛したもの。「グキークク」^ヌマン
「ドゥーン」[^gwi:kk'wa^ヌ nu^ン man^ンdu:ŋ] (甥っ子が多い。甥っ子がたくさんいる)

「クン」^チ [^kun^ンʃi] (名)

根気。忍耐力。気力。「クンチ」^ヌ「ナーン」[^kun^ンʃi^ヌ nu^ン na:ŋ] (根気がない。忍耐力がない。気力がない)

グン「チューグワー」[gun^ンʃu:gwa:] (名)

叔父。叔父 (父の弟)。「叔父・人」に接辞「グワー」[^gwa:] (小さいもの、親愛の意を表す指小辞) が下接したもの

ケー「ケー」[ke:^ンke:] (名)

どうらく (道楽)。「喰らい喰らい」の義か。無為徒食。仕事をせずに遊興に耽るもの。浪費する者。「モーキター」^ンケー「ケー」[^mo:kita:^ン ke:^ンke:] (儲けては食い食いする。儲けては遊興に耽る)。ケーケー「ム」^ン[^ke:ke:^ンmu^ンŋ] (浪費者。道楽者)。サキケー「ケー」[sakike:^ンke:] (酒飲み)。「アラー」^ンモーキター^ンケー「ケー」^ンヤクトゥ^ンヤー「チャー」^ンディノー「ウ克蘭」[^ʔara:^ン mo:kita: ke:^ンke:^ン jakutu ja:^ンʃa:^ン dino:^ン ʔukuraŋ] (彼<あれ>は儲けては浪費する者だから家へは金は送らない)

コー「ルー」[ko:^ンru:] (名)

こま (独楽)。コー「ルー」^ンマー「シュン」[ko:^ンru: ma:^ンʃuŋ] (独楽を回す)

「コクバン」[^kokubaŋ] (名)

黒板。標準語からの借用語。「コクバン」^ヌジー^ンキヤーシュン[^kokubannu ʃi: kja:^ンʃuŋ] (黒板の字を消す)

スア「チングワ」[ra^ンʃingwa:] (名)

分家。「立ちの子等」の転訛したもの。本家から自立して分家した、スア「チン」[ra^ンʃiŋ] (立った<分家した>ところの)の義。スア「チングワ」^ヌックワー[ra^ンʃingwanu^ヌ kkwa:] (分家の子供)。「ウン」^ンヤーヌ^ンスア「チングワー」^ンマン「ド

ウン [ʔuŋ ja:nuʔ raʔfingwaʔ manʔdu:ŋ] (この家の分家が多い。この家から分家した子孫は多い)

「スアニティーティー」 [ʔrani:ti:] (名)

異母兄弟。「種一つ」の義。「ワタカワイ」 [watakawai] (腹違い) ともいう。

「スアニワカイチョーデー」 [ʔraniwakaiʃo:de:] (名)

異父兄弟姉妹。「種別れ兄弟」の義

スアジ「ニー」 [raʃiʔni:ŋ] (動)

たずねる (尋ねる。訪ねる)

スアン「スアナー」 [ranʔrana:] (名)

おてんば (お転婆)。活発すぎて女らしくない女の子。「アラー」 スアン「スアナー」 ヤル [ʔaraʔ ranʔranaʔ jaru] (あれはお転婆である)

「スアンシン」 [ʔraŋʃiŋ] (名)

三線 (三味線)。「スアンシン」 ピ「キン」 [ʔraŋʃimʔ piʔkiŋ] (三線を弾く)。「スオー」 [ʔo:] (三線の棹)、「ティカ」 [tika] (三線の胴。方形で角が丸い。共鳴室の機能を果たすもの)。「ティル」 [tiru] (弦)、ミー「リル」 [miʔriru] (小弦。女弦)、ナカ「リル」 [nakaʔriru] (中弦)、「グーリル」 [gu:riʔru] (雄弦)、ハニ「クイ」 [haniʔkui] (弦掛)、イトウ「ハ」キ [ʔituʔhaʔki] (糸掛け。弦を棹の下部に掛けるもの)、「ン」マ [ʔmʔma] (うま) などよりなる伝統三弦楽器。

スアン「ミン」 [ramʔmin] (名)

計算。勘定。スアン「ミン」 シュン [ramʔminʔ ʃuŋ] (計算<勘定>する)。イク「ティヤガ」 スアン「ミン」 スィバ [ʔikuʔtijagaʔ ramʔmin ʔiba] (いかにほどくくつになる>か計算<勘定>しなさい)

「ジー」 [ʔi:] (名)

文字。漢字や平仮名、片仮名など。「ジー」 ハキン [ʔiʔ hakiŋ] (字を書く)。「ジーヌ」 ジョーリ [ʔi:nuʔ ʃo:ri] (字が上手である。書がうまい)

「シートウ」 [ʃi:tu] (名)

生徒。学校で教育を受けるひと。「ユキガシー」 トウ [ʔjukigafiʔtu] (男生徒)。「ユナグシー」 トウ [ʔjunaguʃiʔtu] (女生徒)。「シー」 トウヌ「イキラ」 スアン [ʃiʔtunuʔ ʔikiraʔraŋ] (生徒が少ない)。「シンシー」 ヤ シートウ「ナラーシュン」 ッチュ「ヤル」 [ʃiŋʃiʔjaʔ ʃi:tuʔ naraʔʃunʔ tʃuʔ jaru] (先生は生徒を教える人である)。「ナマ」 ヤマ「トゥーラン」 シューサア [ʔnamaʔ jamaʔtu:raŋʔ ʃu:ra] (今は生徒が内地<大和>からも来るよ)

「シービ」 [ʃi:bi] (名)

いじめ。せっかん (折檻)。

「シービ 「シュン」 [ʔʃi:bi ʃuŋ] (連)

いじめる。折檻する。シー「ビー」 スアン [ʃi:ʔbi: ɾaŋ] (いじめない)。「ユー シー「ビー」 チャン」 [ʔju: ʃi:ʔbi: ʃaŋ] (よくいじめた)。シービ「シャー」 [ʃi:bi ʃa:] (いじめっこ。「いじめする人」の義)。

「シーヤンジ」 [ʃi:janɕi] (名)

失敗。「為破れ」(為損ない)の義か。「シーヤンジ チャン」 [ʃi:janɕi ʃ'aŋ] (失敗した。しそこなった)。「シグトゥ シーヤンタン」 [ʃigutu ʃi:jantaŋ] (仕事を失敗したくし損ねた>)

「シーヤンジュン」 [ʃi:janɕuŋ] (動)

し損ねる。仕損じる。しくじる。やりそこなう。「アンチ シーヤ シーヤンジュン」 「ドー」 [ʔanɕi ʃi:ja ʃi:janɕuŋ do:] (あんなにすると、し損なうよ)

「シケン」 [ʔʃiken] (名)

試験。標準語からの借用語。「シケン」 「ウキーン」 [ʔʃiken ʔuki:n] (試験を受ける)。「シケン」 「ウカタン」 [ʔʃiken ʔukataŋ] (試験に合格した<受かった>)。シケン「チ」 スー「タン」 [ʃiken ʃi ʔu:taŋ] (試験に合格した<試験に通った>)

ジ「ク」 [ɕi'ku] (名)

一般家庭の女性。「俗」の義か。転じて「しろうと(素人)」の意。対義語は、バハ「ナ」 [pʰa na] (花。遊郭の女性)。あまり使わない

シジ「ハタ」 [ʃiɕi'hata] (名)

父方。父系。「筋方」の義。「シジヌ」 「エーカ」 [ʃiɕinu ʔe:ka] (父方の親類)。「シジーヤ」 「ティーティ ヤル」 [ʃiɕi:ja ti:ti jaru] (血筋、血統は一つである)ともいう。

シ「ティキ」 [ʃi'tiki] (名)

しつけ(躾)。シ「ティキーン」 [ʃi'tiki:n] (仕付ける。叱って教える。教育する)。「ウヌ ックワー」 ユー シ「ティキラットウーン」 [ʔunu kkwa: ʔju: ʃi'tikirattu:n] (この子はよく教育されて<仕付けられて>いる。躾がなされている)

シ「ティキーン」 [ʃi'tiki:n] (動)

仕付ける。躾をする。「ヌー」 「ン」 シ「ティキター」 ナー「ン」 [nu: ʔŋ ʃi'tikita: na: ʔŋ] (何も仕付けてない)。「ウヤヌ シ「ティキーン」」 [ʔujanu ʃi'tiki:n] (親が仕付ける)。「ウヤヌ シ「ティキヤー」 スィー「ンケー」 シュン」 [ʔujanu ʃi'tiki:ja ʔi:ŋke: ʃuŋ] (親が仕付けると反抗<手向かい>する)。「ウヤヌ シ「ティキヤー」 ゲー シュン」 [ʔujanu ʃi'tiki:ja ge: ʃuŋ] (親が仕付けると反抗<害>する)。シ「ティキブシャン」 [ʃi'tikibuʃaŋ] (仕付けたい。躾をしたい)

「ジナ」ン [ʔina̰ŋ] (名)

次男。「ジナンヌ」ンマリタン [ʔinannṵ mmaritaŋ] (次男が生まれた)。「ジナン」ナチャン [ʔinan̰ naʔaŋ] (次男を産んだ)

「ジナンユナグングワ」 [ʔinaŋjunagungwa] (名)

次女。「次男女の子」の義。ナカン「スィー」 [nakan̰θi:] (次女) ともいう。

「シバイ」 [ʃibai] (名)

芝居。戦前は芝居を見学に行くこともなかった。「シバイシー」 [ʃibaiʃi:] (芝居役者)の社会的地位は低く、ばかにされていた。シマ「カヤー」シバイ「シーガ」ッチャー「シバイ チャン フトー」ナー「ン」 [ʃima̰ˈkaja:ʔ ʃibaiˈʃi:ga̰ tʃʰi: ʃibai ʔʰaŋ ʔoto:ʔ na:ʔŋ] (島には、芝居役者が来て芝居をしたことはない)

「シマ」 [ʃima] (名)

相撲。「シマ スウイン」 [ʃima θuin] (相撲をとる)

「シンシー」 [ʃinʃi:] (名)

先生。学校の教師。学問に優れた人。医師や弁護士。「シンシーガ」イモー「チャン」 [ʃinʃi:ga̰ ʔimo:ʔaŋ] (先生が来られた<いらっしゃった>)。「ユキガシンシー」 [ʃukigaʃinʃi:] (男の先生)。「ユナグシンシー」 [ʃunaguʃinʃi:] (女の先生)

「ジュー」 [ʃju:] (名)

次郎。

「シュービ」 [ʃu:bi] (名)

干潮。潮が引くこと。「潮干」の義か。

シュービー「クジー」 [ʃu:bi:ˈkuʃi:] (名)

潮干狩り。「潮干くじり (挟り)」の義か。シュービー「クジーチ」イキン [ʃu:bi:ˈkuʃi:ʃi ʔikin] (潮干狩りに行く)。「ペーン」シー [ˈpe:ŋ ʃi:] (平たい干瀬。「南の干瀬」の義か)や島の東海岸で潮干狩りをした。津堅島と久高島の間にある「スアー」キ [ˈra:ʔ ki] (干瀬の名)干瀬へサバニで渡り、蛸を捕ったり高瀬貝、広瀬貝、さざえ貝を拾ったりした。知念あたりの人は、「スアー」キ [ˈra:ʔ ki] を「ター」キ [ˈta:ʔ ki]、または「ター」チ [ˈta:ʔ ʃi] という。

「ショー」ニン [ʃo:ʔ nin] (名)

15歳から70歳までの男子。男子が15歳になると地割制度に基いて一定の畑地が与えられた。畑地が与えられ、祭祀行事への参加義務を負わされた15歳から70歳までの男子をいう。女子には畑地は与えられなかったという

シュ「テームチジョー」リ [ʃṵˈte:muʃiʔo:ʔ ri] (名)

所帯持ち上手。家計のやりくり上手。家庭経営が上手な人。

シュラ「スアン」[ʃuraˈraŋ] (形)

美しい。「イーヌ」 シュラ「スアン」[ʔi:nuˈ ʃuraˈraŋ] (絵が美しい)。シュラ「ス
 ァー」ナーン [ʃuraˈraːˈ naːŋ] (美しくない)。シレー「シレー」 シュラスァ「ナ」テ
 イ シューン [ʃireːˈʃireːˈ ʃuraraˈnaːti ʔuːŋ] (だんだんと<次第次第に>美し
 くなってくる)。シュラッ「チュ」[ʃuratˈʃu] (美しい人。美人)。シュラ「ムン」[ʃura
 ˈmuŋ] (美しいもの)。シュラ「スアン」シャコー「ギー」ブシャン [ʃuraˈraŋʃakoːˈ
 giːˈbuʃaŋ] (美しかったら貰いたい)

ジョー「リ」[ɕoːˈri] (名)

上手。「モーイ」ジョー「リ」[ˈmoːiɕoːˈri] (踊り上手)。「ウン」チャー「モーイ」ジョー「リ」
 [ʔunʃoːˈ moːiɕoːˈri] (その人は踊り上手だ)。「アラー」ウタ「ジョー」リ [ʔaraːˈ
 ʔuta ˈɕoːˈri] (あれ<彼>は歌が上手だ。あれは歌がうまい)

スィー「モーエー」[θiːˈmoːjeː] (名)

手踊り。ショー「ガチヌ」シャク「ウガミン」バーイ「シャク」ウガリカラ「
 へー」イン「バー」イヤ「ハンナ」リ「スィー」モーエー「シミラ」リー「タス」ァー
 [ʃoːˈgaʃinuˈ ʃaku ʔugamim baiː ʃaku ʔugarikaraˈ heːˈiŋ baːˈija
 hannaːriˈ θiːˈmoːjeː ʃimirariːˈtaraːˈ] (正月の酌を拝するとき、酌を拝してから帰
 る場合、必ず手踊りをさせられた)

「スィー」ワチャレー「[θiːˈwaʃareː] (名)

持て余すこと。手をやくこと。思い悩むこと。心配。苦労。「手煩い」の義。ワラ「ビ
 ヌ」ヤマ「グッチ」スィー「ワチャ」レー「ムン」ヤル [waraˈbinuˈ jamaˈgutʃiˈ
 θiːˈwaʃaˈreːmuŋˈ jaru] (子供が悪戯して困りものだ<手をやいている。悩ましい
 ことだ>)。ヤマ「グヌ」チュー「スァヌ」スウイン「ティミーン」ナラン [jama
 ˈgunuˈ ʃuːˈraːnuˈ θuin ˈtimiːnˈ naraŋ] (悪戯が過ぎて<強くて>手のつけよ
 うがない<取り締りできない>)

スィガマ「リーン」[θigamaˈriːŋ] (動)

せがまれる。せびられる。ねだられる (強請られる)。スィガマッ「タン」[θigamat
 ˈtaŋ] (せがまれた)。ワラビ「ネー」クジケー「スィガマ」ッタン [warabiˈneːˈ
 kuʃikeː ˈθigamattaŋ] (子供に小遣いをせがまれた)

「スィ」ティキーン「[θitikiːŋ] (動)

仕付ける (躰ける)。厳しく教える。叩いて教える。いびる。「スィ」ティキラン
 [ˈθitikiran] (いびらない)。ミカ「シャー」ユー「スィ」ティキタン [mikaˈʃaːˈ
 juː ˈθitikitāŋ] (昔はよくいびった)

スィ「トゥ」[θiːˈtu] (名)

しゅうと (舅)。しゅうとめ (姑)。スィ「トゥ」ヌ「チュー」スアン [θiːˈtunuˈ ʃuːˈraŋ]

(舅姑が厳しい)。「ユキガスイトゥ」[ˈjukigaθitu] (舅。「男舅」の義) ともいう。

「スイッパー」[ˈθippu:] (名)

鉄砲。「シェンジェン」 クダ「カヌ コーチャー チュータヌ」 クラ「キンヌ ニールクヌ アラカキ マゴイチスアンガ スイッパー ムツ」チ ホー「ター ウチャー」ガ イメータ「スアー」[ˈʃenɟen] kudaˈkanu koːtʃoː tʃuːtanuː kuraˈkinnu niːrukunu ʔarakaki magoiɕiɾaŋga θippuː mutʃi hoːˈtaː ʔuɕiːˈga ʔimeːˈtaːraː] (戦前、久高島の校長をしておられた久手堅の根所の新垣孫一さんが鉄砲を持って山鳩を撃ちにいらっしゃったよ)

「スイミ」[ˈθimi] (名)

墨。「スイミ」 「スイーン」[ˈθimi ˈθiːŋ] (墨を磨る)

「スイラ」[ˈθira] (名)

兄 (名称)。「兄 先札」『琉球館訳語』の転訛したもの。「ウヌ ッチャー」ワー「スイラ」ヤイビール[ˈʔunu tʃoː waː ˈθira ˌjaibiːru] (この人は私の兄です)

「スイラ」ブイ [θiraˈbui] (名)

日向ぼっこ。「太陽に当たる」の義。スイラ「ブイ シュン」[θiraˈbui ʃuŋ] (日向ぼっこをする)

「スウーイン」[ˈθuːiŋ] (動)

問う。質問する。ワカ「ラン」 フトゥ 「スウーイン」[wakaˈraŋ ɸutu ˈθuːiŋ] (分からないことを問う)。「スウーラン」[ˈθuːraŋ] (問わない)。「スウータン」[ˈθuːtaŋ] (問うた)。「スウー」ティ 「ミーン」[ˈθuːˈti ˈmiːŋ] (問うてみる)。「スウーイスイヌ」 ナーン [ˈθuːiθinuː naːŋ] (問うことがない)。「ヤーガ スウーイン シャコー」 ワヌン 「スウーイスアー」[ˈjaːga θuːiŋʃakoː wanun ˈθuːiɾaː] (君が問うたら私も問うよ)。「スウーリバ」[ˈθuːriba] (問いなさい)

「スウイン」ティミーン「ナラン」[θuinˈtimiːnˈ naraŋ] (連)

手のうちようがない。手の施しようがない。取り締りできない。

「スーブグトゥ」[ˈsuːbugutu] (名)

勝負ごと。賭博の意味はない。ウンドー「クワイヌ」^バハーエーシュウーボー チャー アリーガル「イチ」バン ナイータル (「カツタル」[ˈʔundoːˈkwainu ˈɸaːjeː ʃuːboː tʃaː ʔariːgaruː ɸiɕiˈban naiːtaru (ˈkatsutaru)] (運動会の走り競走は常にあれ<彼>が一番になった<勝った>)

「スズリ」[ˈsuzuri] (名)

すずり (硯)。標準語からの借用語。「スイミ」 「スイーン」[ˈθimi ˈθiːŋ] (墨をする)

「スウシ」[ˈθuːʃi] (名)

年。年齢。「ナマ」 スウシャー ワカ「スアン」[ˈnama θuːʃaː wakaˈraŋ] (ま

だ年は若い)。「スウシ」 「スウイン」 [ʔθuʃi ʔθuin] (年をとる。加齢する)。「スウシ」 スウ「トゥーン」 [ʔθuʃi θuʔtu:n] (年をとっている。老けている)

「スウジ」 [ʔθuʃi] (名)

妻。「刀自、～吾児之刀自緒」『万葉集 723』の転訛したもの。「ワー」 「スウジャー」 シュラハー「ギー」 ヤイビール [ʔwa: ʔθuʃa: ʃuraha:gi: jaibi:ru] (私の妻は美人です)。シュラハー「ギー」 [ʃuraha:gi:] (美人)は「清ら影」の義。

「スウスイ」 [ʔθuθui] (名)

年寄り。「スウスイヤー」 ユー ウトウイ「ムチ」 スァン「バ」 「ナラン」 [ʔθuθuja: ju: ʔutui muʃi ra:m ba ʔnaraŋ] (年寄りは丁重に<よく>おもてなししなければならない)。「スウスイ」 「ネーヤ」 ユー 「コー」 スァン「バ」 「ナラン」 [ʔθuθui ne:ja ju: ʔko: ra:m ba naraŋ] (お年寄りにはよく孝行を尽くさなければならない)。「アラー」 ウヤヌ 「コーヤ」 ユー 「チャン」 [ʔara: ʔujanu ʔko:ja ju: ʔʃaŋ] (あれ<彼>は親によく孝を尽くした<親の孝行はよくやった>)。「スウスイヤー」 デー「ジニ」 シュン [ʔθuθuja: de:ʃini ʃuŋ] (年寄りを大切にする)

スウラ「ティーン」 [θuraʔti:n] (動)

育てる。スウラ「ティラン」 [θuraʔtiraŋ] (育てない)。スウラ「ティタ」 ン [θuraʔtita ʔn] (育てた)。「ウラー」 ウヤヌ 「ピャースァ」 マーシャーマ「ワー」 「ガル」 スウラ ティ「タル」 [ʔura: ʔujanu ʔpja:ra ma:ʃa:ma wa:garu θuratiʔtaru] (あの人<彼>は親が早くに亡くなったので、私が育てた)

「スウルバン」 [ʔθurubaŋ] (名)

そろばん (算盤)。「スウルバン」 イリー ン [ʔθurubaŋ ʔiri:n] (算盤をいれる)

スエー「ヤク」 [θe:ʃaku] (名)

「退役」の義。数え年 71 歳になると、総ての神行事の役職から退く。この 71 歳以上の人をさしている。

「スオー」 [ʔθo:] (名)

三線<三味線>のさお (棹)。琉球黒檀の心材を用いて作ったものが多いが、桑の心材を利用した三線の棹もある。「スァンシンヌ」 スオーヤ「クルチ」 「シャーマル」 トウクラ「リー」 ル [ʔraŋʃinnu θo:ja kuruʃi ʃa:maru tʊkura ʔri:ru] (三線の棹は黒檀の木で作られる)

チムグッ「スァン」 [ʃimugurʔraŋ] (形)

かわいそう (可哀相)だ。ふびん (不憫)である。「肝苦しい」の転訛したもの。アン「ターヤ」 イナ「グン」 ウヤヌ 「ビャースァ」 マーツチ チムグッ「スァスァー」 [ʔanʔta:ja ʔina ʔguŋ ʔujanu ʔʃja:ra ma:tʃi ʃimugurʔra:ra:] (あれだち<彼等>は母親が早くに亡くなって可哀相だ)

ナキ「ブサー [nakiˈbura:] (名)

なきむし (泣き虫)。「アヌ ックワー」 ナキ「ブサー」 ヤル [ˈʔanu kkˈwaː nakiˈburaː jaru] (あの子は泣き虫である)

「ナキン [ˈnakin] (動)

なく (泣く)。ワラ「ビ」ヌ 「ナキン [waraˈbiˈnu ˈnakin] (子供が泣く)。「ナカン [ˈnakan] (泣かない)。「ナキヤッサン [ˈnakijarraŋ] (泣きやすい)。「ナチカラ マ」タ 「ワレーン [ˈnaʃikara maˈta ˈwareːŋ] (泣いて、また笑う)。「ナチャ イ 「ワラ」タイ [ˈnaʃaːi ˈwaraˈtai] (泣いたり、笑ったり)。「ナチュータン」 ムンヌ 「ナ」マ 「ワラトーン [ˈnaʃuːtamˈ munnu ˈnaˈma ˈwaratoːŋ] (泣いていたのに、今は笑っている)。「ナキン」 ワラ「ビヤ ミックワッサン [ˈnakiˈŋ waraˈbija mikkwaraŋ] (泣く子は憎たらしいく憎い)。「ナキン」 フ「トー ス アン [ˈnakiˈŋ ʔuːtoː raŋ] (泣くことはしない)。「ナキンシャコー」 クワーシ 「スウラシバ [naˈkinʃakoː kwaːʃi ˈθurasiba] (泣いたらお菓子をあげなさい)。「ユー」 「ナキン [ˈjuː ˈnakin] (よく泣く)。「ナキーヤ [naˈkiːja] (泣くか)。「ナ マ」ン ナ「チューイヤ [ˈnamaˈn naˈʃuːija] (今も泣いているか)。「ナマ」ン ナ「チュースア [ˈnamaˈn naˈʃuːra] (今も泣いているよ)。「チャー」ナキー [ʃaːˈnakiː] (ずっと泣き続けること)。「ハー」 「ナキバ [ˈhaː ˈnakiba] (早く泣けよ)。「ナチ ユー」ン [ˈnaʃuːŋ] (泣いている)。「ナチャー」 グ「ラン [ˈnaʃaː guˈraŋ] (泣いてはいない)。「ナチューンシャコー」 エーリ 「スイバ [ˈnaʃuːŋʃakoː ʔeːri ˈθiba] (泣いていたら合図し知らせなさい)

ナシ「キラー [naʃiˈkira:] (名)

末っ子。「生し切り」(産み止め)の義。「ウヌ ックワー」 ナシ「キラー」 ナヤーマ プンデームン」 ヤル [ˈʔunu kkˈwaː naʃiˈkiraː najaːma pundeːmuŋˈ ja ru] (この子は末っ子で、甘えん坊く我儘っ子である)

ナナティギー「ター [nanatigiˈta:] (名)

七歳になると片足とびができるようになること

ナラー「シュン [naraˈʃuŋ] (動)

教える。「習わせる」の義。ナラー「スアン [naraˈʃaŋ] (教えない)。「ナラー」チャ ン [naraˈʃaŋ] (教えた)。「ナラーシ」ブシャン [naraˈʃiˈbuʃaŋ] (教えたい)。「ナ ラーチミー」ン [ˈnaraˈʃimiːŋ] (教えてみる)。「ワヌン」 ナラー「シュン [ˈwanun naraˈʃuŋ] (私も教える)。「ナラー」スウサー」 ナー」ン [naraˈθuraː naˈŋ] (教 えるのではない)。「ナラー」スウサー」 スアー」ン グ「ラン [naraˈθuraː raːŋ guˈraŋ] (教える人は誰もいない)。「ヤーガ」 ナラー「シュンサアコー」 ワヌン ナラー「スウサー [ˈjaːgaː naraˈʃunraːkoː wanun naraˈθuraː] (君が教え

るなら私も教えるよ)。「ハー ナラー「スイバ」[⁷ha: nara:θiba] (早く教えなさい)。
ミカ「シャー」 ユー ナラー「チャン」[mika⁷ʃa: ju: nara:ʃaŋ] (昔はよく教えた)
「ナリー」[⁷nari:ŋ] (動)

慣れる。ナカ「ナ」カ ナリ「ラン」[naka⁷na⁷ka nari⁷raŋ] (なかなか慣れない)。
「ヨーヤ」ク 「ガッコー」カイ ナリ「タン」[⁷jo:ja⁷ku ⁷gakko⁷kai nari⁷taŋ] (よ
うやく<漸く>学校に慣れてた)

「ナレーグトゥ」[⁷nare:gutu] (名)

習い事。芸事。標準語からの借用語。あまり使われない。

ナレー「リマ」[nare:⁷rima] (名)

報酬。月謝。謝金。「習い手間賃」の義。教えてもらうことに対する手間賃。

「ナレーン」[⁷nare:ŋ] (動)

習う。学ぶ。「ワーガ ナレーン」[⁷wa:ga nare:ŋ] (私が習う)。「ワナー ナレー
ン」[⁷wana: nara:ŋ] (私は習わない)。「ナレーブシャン」[⁷nare:bu⁷ʃaŋ] (習いたい)。
「ナラ」ティ 「ミーブシャン」[⁷nara⁷ti ⁷mi:bu⁷ʃaŋ] (習ってみたい)。ナレー「ス
ィガ グラン」[nare:⁷θiga guraŋ] (習う人がいない)。「ヤーガ」 ナレーン「シャ
コー」 ワヌン ナレー「スアー」[⁷ja:ga⁷ nare:ŋ⁷ʃako⁷ wanun nare:⁷ra:] (君
が習うなら私も習うよ)。「ハー 「ナレーバ」[⁷ha: ⁷nare:ba] (早く習いなさいよ)。
「ウ^ボホースァ」 ナラ「タン」[⁷ʔu⁷Φo:⁷ra⁷ nara⁷taŋ] (たくさん習った)。「ナマ」
ナラ「トゥーン」[⁷nama⁷ nara⁷tu:ŋ] (今、習っている)。ナラ「トゥーンシャコー」
スイミ「スアー」[nara⁷tu:ŋ⁷ʃako⁷ θimi⁷ra:] (習っているならいいよ)。ムン「ナレ
ー」[mun⁷nare:] (教え諭すこと。「物習い」の義。教えを乞うこと)

ニー「スァン」[ni:⁷ʃaŋ] (形)

まずい(不味い)。「ウス スォー^ボホー」 ニー「スァン」[⁷ʔunu θo:⁷Φo:⁷ ni:⁷ʃaŋ]
(この豆腐は不味い)。「ウス スォー^ボホー」 シマ「スアー」 ナー「ン」[⁷ʔunu θo:
⁷Φo:⁷ ʔmma⁷ra:⁷ na:⁷ŋ] (この豆腐は美味しくない)

ニブ「トゥ」[nibu⁷tu] (名)

おでき。できもの。ピシャ「カイ」 ニブ「トゥヌ」 ンギ「トゥーン」[pi⁷ʃa⁷kai⁷
nibu⁷tunu⁷ ŋgi⁷tu:ŋ] (足に腫れ物<おでき>が出来ている)

「ニングリ」[⁷ninguri] (名)

めかけ(妾)。情を交わした女。特別に親しくしている女性。「ねんごろ(懇ろ)」の
義か。

「ヌイ」[⁷nui] (名)

のり(糊)。米などの澱粉で作った接着剤。「ヌイ 「ティキティ」 バハイン」[⁷nui
⁷tikiti ⁷Φaiŋ] (糊を付けて貼る。貼り付ける)

「ハナ」スアン [「hana」raŋ] (形)

可愛い。孫などの可愛さにいう。愛すべきである。いとoshii。「～妻子見れば 可奈之久めぐし～。万 4106」の「可奈之」の転訛したもの。フッチャギ「スアン」[Φutʃagi「raŋ」] (可愛い) ともいう。^バハー「^バハーガ」 ンマガ 「ハナスア シュン」[^パΦa:「^パΦa:ga」 ʔmmaga 「hanara ʃuŋ」] (祖母が孫を可愛がる)

フッチャギ「スアン」[Φutʃagi「raŋ」] (形)

かわいい。愛らしい。赤ちゃんの可愛らしさなどにいう。「アヌ ユナグングワ」デー「ジナ」 フッチャギ「スアン」[「ʔanu junaguŋgwa」 de:「ʤina」 Φutʃagi「raŋ」] (あの女の子は非常に可愛い)

「ムリーン」[「muri:ŋ」] (動)

むずかる。駄々を捏ねる。甘える。「アカングワ」ヌ ムリ「トゥー」ン [「ʔakaŋgwa」 nu muri「tu:」ŋ] (赤ん坊がむずかっている)。「アカングワ」ヌ 「ムリーン」[「ʔakaŋgwa」 nu 「muri:ŋ」] (赤ん坊がむずかる)

「ンドースアン」[「ʔndo:raŋ」] (形)

かわいそう (可哀相) である。気の毒である。同情すべきである。「アヌ」 スウ「スウヤー クワー」 グラナ 「ンドースアヌ」[「ʔanu」 θu「θuja: kwa:」 gurana 「ʔndo:raŋ」] (あの年寄り、子供がいなくて気の毒だ)